

## 第39回岩手県勤労者美術展 審査評

開催期間 2020年11月12日(木)～15日(日) 於：盛岡市民文化ホール・展示ホール

<<絵画の部>> 出展数 38点 審査員：種倉<sup>たねくら</sup> 紀昭<sup>のりあき</sup> 氏

### 岩手県知事賞 (1名)

氏名：大須賀 美智子 (花巻市) 作品名：願いを込めて

審査評	立体派的な人物たちの構成と明快な色彩構成がすばらしい。
-----	-----------------------------

### 優秀賞 (1名)

氏名：田中館 隆雄 (滝沢市) 作品名：こだま

審査評	クラリネットを演奏する赤い制服の女性が力強く描かれている。背景の分割構成も工夫が凝らされている。メロディーやリズムを表現していると思われる。
-----	--

### 奨励賞 (3名)

氏名：高橋 邦枝 (盛岡市) 作品名：再起 (震災をのり越えて)

審査評	赤、青、黄、白、緑によるダイナミックな絵画構成。虎舞と纏(ぼと)の中に小さく太鼓を叩く人が描かれている。スクエアの画面はまとめ方が難しい。
-----	---

氏名：巢鴨 尋子 (盛岡市) 作品名：大地の詩・古木

審査評	マチエール豊かに葉を落とした古木を描いている。重厚な絵である。
-----	---------------------------------

氏名：荒井 賢二 (遠野市) 作品名：「いつか、また……。」

審査評	遠野駅に停車したSLにカメラを構えた人々が集まる。克明な水彩描写に優れている。
-----	---

## 佳作（5名）

氏名：川畑 和子（盛岡市） 作品名：成長

審査評	竹林を紺の衣装をまとして元気よく走って来る少女。 青や緑の色彩と人物デッサンにほのぼのとした愛情を感じる。
-----	--

氏名：柴田 和夫（盛岡市） 作品名：道後温泉（愛媛県松山市）

審査評	やや小ぶり作品。 漱石の時代から続く名物建築を丁寧に描いた水彩画である。
-----	---

氏名：平野 展子（盛岡市） 作品名：盛岡暮秋

審査評	盛岡中央通の夜景をやや幻想味を帯びた画風で描いている。 色調は青と白と黒で、しみじみと静かである。
-----	--

氏名：大澤 和江（盛岡市） 作品名：種差海岸

審査評	大きな白い岩を画面の中心に捉え、海に向かって並ぶ岩の壁を力強く描く。海のグラデーション、草むらの描写も適確である。
-----	---

氏名：梅田 節子（盛岡市） 作品名：ねがい

審査評	スクラッチを多様して、マチエールや色彩や人物プロフィール、鳥、ハート型などを抽象的に表現した。自由さがある。
-----	--

### ◆ 総評 ◆

今回は、昨年より出品者がやや少なく、38人で一人1点であった。新型コロナ禍の中で、制作出品された皆様に敬意と感謝の念を感じる。安定した実力を持つ常連の作品の中に、独自の画風の作品が混在する。佳作の賞の絞り込みに大いに悩まされた。良い作品が多いと思った。

## 第39回岩手県勤労者美術展 審査評

開催期間 2020年11月12日(木)～15日(日) 於：盛岡市民文化ホール・展示ホール

<<写真の部>> 出展数 44点 審査員：小川<sup>おがわ</sup> 文男<sup>ふみお</sup>氏

### 岩手県知事賞 (1名)

氏名：松坂 翔太 (奥州市) 作品名：2歳おめでとう

審査評	光がひとみに輝き、2歳の子どもの将来に希望がみえる。 バック処理が良い為、顔の明るさで強調された。
-----	--

### 優 秀 賞 (1名)

氏名：古谷 広太郎 (盛岡市) 作品名：背中スリスリ

審査評	カメラアングルが抜群で、良いタイミングでシャッターを切った。 色調もよごれた感じが生かされている。
-----	--

### 奨 励 賞 (3名)

氏名：菅原 重太郎 (花巻市) 作品名：宝孫さんと祭へ

審査評	おじさんの顔は、こわいが、心はやさしい人だろう。 抱き方で想像できる。
-----	--

氏名：福盛田 美奈子 (花巻市) 作品名：散花の道標

審査評	今回は、風景が弱かった。 さすが一番良い時に現場に居た。ベテランの味がする。
-----	---

氏名：黒木 義則 (盛岡市) 作品名：孫

審査評	健康な少女達は誰が見てもいい。 背景のカゲが生きた。
-----	-------------------------------

## 佳作（5名）

氏名：山田 恵子（盛岡市） 作品名：cool curtain

審査評	滝沢市にある公園。正面からねらったことが良かった。 演出だと思いが、いいタイミングでシャッターが切れた。 カメラ設定が良かったのでしょうか。
-----	--

氏名：千田 久（奥州市） 作品名：宙に浮かぶアンブレア！

審査評	アンブレアがこんなに空中に浮いているのを初めて見た。 コロナも逃げていきそうだ。
-----	---

氏名：北井崎 昇（盛岡市） 作品名：猛暑コロナ滅却

審査評	毎日、コロナのニュースを聞いていると、うんざりだ。 足を主題でコロナを蹴散らす心の強さがいい。 コロナをテーマにした唯一の写真。
-----	--

氏名：及川 茂輝（盛岡市） 作品名：ダッシュ

審査評	白鳥の写真は唯一2点だけ。 羽ばたきと水の動き共に適切だった。 背景処理も良い。
-----	--

氏名：伊藤 憲子（盛岡市） 作品名：ゼロ弾きゴージュごっこ

審査評	賢治と女性のからみ可愛い一枚。 コロナを一瞬忘れられた。
-----	---------------------------------

### ◆ 総評 ◆

世界中コロナで暗い年。おのずと暗い日常が続いている。  
せめて、アマチュアカメラマンは、希望がみえる写真を揃えて発表したい。  
今回はスナップに良い写真が多く集まった。

## 第39回岩手県勤労者美術展 審査評

開催期間 2020年11月12日(木)～15日(日) 於：盛岡市民文化ホール・展示ホール

＜＜書道の部＞＞ 出展数 14点 審査員：吉田<sup>よしだ</sup> 晨風<sup>しんふう</sup> 氏

### 岩手県知事賞 (1名)

氏名：木内 淳子 (汀鷺) (盛岡市) 作品名：姚汝循詩

審査評	自然な運筆の流れに文字造形を工夫し、余白の使い方も効果的で規模の大きな作品。 行草体を用いての気力充実した作。
-----	--

### 優 秀 賞 (1名)

氏名：八木橋 ひろみ (宏苑) (盛岡市) 作品名：春のうた

審査評	繊細さの中におだやかな運筆でゆったりと大きな河が悠か遠くへ流れるような大きさを感じる作。 確かな技量が表現され、気持ちの晴れる作である。
-----	---

### 奨 励 賞 (1名)

氏名：片方 正明 (北上市) 作品名：高青邱詩

審査評	線の複雑なからみ合いの中に文字が形づくられ連綿線の多さの割によくまとまった作。 余白もつくられ、迫力の感じる作。
-----	---

### 佳 作 (3名)

氏名：松江 邦雄 (春風) (花巻市) 作品名：大器晩成

審査評	確かな文字、安定した彫り、落ち着いた素材を用い、生活の書にもってこいの作品。存在感のある作。 さらに大きな作になるとどうなるか期待がこもる。
-----	---

氏名：大矢 幸一（瑞峰）（矢巾町） 作品名：古語

審査評	線質の多様さを、篆書を用いて表現した作品。 線の面白さがよくでている。 線と線のつながりを気持ちでさらに意識するとよりまとまった作になると思う。
-----	--

氏名：田之岡 由美子（青桂）（盛岡市） 作品名：王維詩

審査評	小さい作ながら錬度の高い充実した作。 行草体での線の強さが見せ場をつくっている。
-----	---

### ◆ 総 評 ◆

今回は美術展が開催されるかどうかの不安や、出品者の制作環境も変わり難しいものがあつた中、開催できた幸せを皆さんとともに喜びたいと思います。出品作はいずれもキャリアのある方がそろって、審査が難しかったのですが、それぞれが自分の顔を出して見ごたえのある作品が多かったと思います。次回は、今までの出品の方も含めてよりたくさんの方が参加し、いろいろな表現の作品が展示されることを期待しています。何よりもそれぞれの顔が作品に出るように、これを望んでいます。